

令和3年度ワーケーション・コレクティブインパクト 事業概要

1 イベントの趣旨・目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、日本の社会構造の在り方は大きな転換期を迎えている。特に、東京一極集中の弊害等が顕在化したことで、特に若者を中心に地方回帰への関心が高まるなど、都市部と地方との関係性も再定義化が図られようとしている。

テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で地域の魅力に触れながら仕事を行う「ワーケーション」という手段を活用しながら、官民の垣根を越えて地域の抱える課題を議論し、ポストコロナ社会における各分野のニューノーマルモデルを地域から全国へ発信する。

2 主催 ワケーション自治体協議会

3 共催 一般社団法人日本経済団体連合会
公益社団法人日本観光振興協会
一般社団法人日本テレワーク協会

4 後援 関係省庁（調整中）

5 協力 株式会社パソナ JOBHUB、一般社団法人 dialogue

6 イベントの概要

- (1) 日程 令和3年9月～11月（各地でのイベント日程は別紙1のとおり）
- (2) 場所 全国8道県（別紙1のとおり）
- (3) 参加者 国家公務員、地方自治体職員、企業社員から合計約230名を想定
- (4) 内容

以下内容を盛り込んだワーケーションツアー（2泊3日～3泊4日）を各都道府県で実施

- 各テーマ関連施設の視察
- 各テーマに関する地元事業者や有識者の講義及び意見交換等
- 参加者間でのグループディスカッション及びプレゼンテーション 等

7 必要経費 各都道府県で着地型ツアーを企画し、必要経費を参加費として徴収

8 添付資料

- 別紙1 各都道府県におけるイベント詳細
- 別紙2 ツアー募集に係るオンライン説明会の開催について

以上